

日本共産党東京都議会議員団

文教委員会理事／オリンピック・パラリンピック特別委員

## とや英津子のニュースレター

TOYA ETSUKO Newsletter

事務所：練馬区桜台1-6-11 TEL:03-6324-8060

LINE公式  
QRコード4月の消費者物価UP  
都市ガス27.6%  
電気代 25.8%  
ガソリン14.3%

## 物価高騰で生活ピンチ

## 共産党都議団が、小池都知事に緊急経済対策の申し入れ

5月13日、日本共産党都議団は「物価高騰等に対する緊急経済対策の申し入れ」を小池百合子都知事あてに行いました。武市敬副知事が応対し、「各局が補正予算をねりあげているところでありますので、本日のお話を伝え、第2回定例会に臨んでいきたい」と述べました。



## 申し入れた対策の主な内容

●5月13日の申し入れ  
左から3人目がとや都議

新型コロナに続く、原油高、ウクライナ情勢、円安などによって、原油や原材料の価格高騰、資材などの供給不足等が起き、都民や都内事業者をとりまく状況はますます厳しさを増しています。都の補正予算では、都独自の財源対策も行い、下記のような緊急の経済対策を行うよう求めます。

- 1、都 各局を横断した、「物価高騰対策本部」の設置
- 2、消費税5%引下げ、インボイス中止を国に求める
- 3、ひとり親家庭や、生活困窮者などへの給付金支給
- 4、国保料、後期高齢者保険料の減免へ都の財政支援
- 5、電気・ガス料金を含む公共料金の負担軽減
- 6、熱中症対策のため生保受給者や、低所得者への、エアコン購入・設置費用や電気代への助成の実施
- 7、家賃が払えずに住宅喪失がないよう家賃補助を
- 8、心身障がい者福祉手当の増額や障がい者の医療費の負担軽減福祉作業所の賃金への補助を行うこと
- 9、各種の福祉施設・事業所・医療機関への財政支援
- 10、学校給食の質低下の防止へ都立学校（特別支援学校や夜間高校）と、区立小中などへ食材費の支援… など20項目にわたります。

## 東京から 本気でジェンダー平等の実現を

日本共産党都議団  
が都に申し入れ

申し入れを行う共産党都議団と、とや都議（中央）

3月23日共産党都議団は「東京都男女平等参画推進総合計画」に関する申し入れを小池都知事宛におこないました。

赤羽朋子担当部長が応対し、「本気で男女平等参画を進めます。第三者機関に関してはこれまで設置していないので、これから検討していく」と述べました。

●詳細は  
都議団HP  
のページを  
参照

# 都立高校入試に (株)ベネッセの 英語スピーキング活用!?



都民からの「延期、見直し」を求める請願

5月27日  
文教委員会

2023年度の都立高校入試から導入される「中学校英語スピーキングテスト (ESAT-J)」をご存じでしょうか。このテストは今年の11月27日、東京の全ての公立中学3年生に一斉に行われる予定です。テストの結果は都立高校入試の調査書点として加点 (20点満点) される計画です。問題作成から採点まで (株)ベネッセコーポレーションが行います。

まだ知らない人も多く、専門家からも問題点が指摘され、都議会には「導入延期、見直し」の請願が提出されました。請願採択を共産党、立憲民主などが求めましたが自・公・都ファが反対し否決に。

## 疑問1 海外の採点で公平性・正確性は?

テストの結果が入試に活用されることから、最も重視されなければならないのは採点の公平性・正確性です。採点は、フィリピンにあるベネッセの関係する会社の採点センターが行うとされています。しかし、具体的な会社名も、どういう資格の人が、何人で、どんな体制で行うかは非公開です。8万人の中3生のスピーキングを同じ基準で採点できるのか、疑問の声が上がっています。点数に疑問があっても、情報開示請求もできません。



「入試改革を考える会」のテスト中止を求める記者会見に同席する  
とや都議 (22年6月7日)



## 疑問2 1点違いが4点に拡大する 成績評価の不公平な仕組み

さらに成績評価の仕組みも問題です。テストが100点~80点の生徒の調査書点は20点、79から65点の生徒は16点に換算します。そのため、テストで80点と79点の生徒では、1点違いなのに、調査書点では4点差と差が拡大してしまいます。専門家も、入試では不適切な採点制度と指摘しています。

## 疑問3 中学生も「GTEC試験のまんまやん」

「中学校英語スピーキングテスト」は都教委監修といいますが (株)ベネッセの英語テストGTECとそっくりです。

朝日新聞EDU.でも報道されました。ベネッセのGTEC試験を導入している区市町村の方が点数を取りやすくなることは明らかです。また、ベネッセは家庭用学習教材も販売しており、利益相反の懸念がぬぐえません。

## 疑問4 不受験者の扱いの不可解さ

病気などで受験できなかった生徒のスピーキング点数は、学力検査 (2月の入試) の英語の得点が近い他の生徒のスピーキングの点数から推定するといいますが、2者に相関関係があるというデータはありません。また、不登校者などの扱いも不明確です。

## 子どもたちの願いに応える 教育環境整備こそ必要



英語のスピーキング力をつけることは、外国の人達との交流や異文化に触れる機会を増やすことにつながります。

英語教育の改善には、生徒の願いに応えて楽しく学べるように、中学校の少人数学級化などスピーキング力を養えるような教育環境の整備こそ必要です。